

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース07年3月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

鎌ヶ谷の飛躍は、 市民ひとりひとりのその一歩から！

市議会議員 ふじしろ 政夫



4月には統一地方選挙があります。最も身近かな、市・県議会の議員を選出する投票です。“市民一人一人の声がとれる議会”をつくっていく為の第一歩です。

鎌ヶ谷市が、今、大きく飛躍する為に、重要な4年間になると思われまます。新鎌ヶ谷を中心にした広域交流拠点として何をつくっていくのか？どう街づくりをしていくのか？

人々が集うところには、

- ①コミュニケーション（人の、情報・物・サービスの交流）
- ②健康（地域医療・介護の拠点が、さらに緑ゆたかで、歩いたり話したりすることで、より豊かな生活をすごしていける）
- ③楽しさ（文化、娯楽など、心も体も楽しくなる空間）があります。

新鎌ヶ谷の鎌ヶ谷総合病院（中核病院）は9月にオープン予定。248床24時間365日小児救急を含めた、救急医療機関（2.5次）です。地域の“かか

りつけ医”との、又、周辺医療機関との連携で、住民一人一人に対応できる24時間の医療・介護体制をつくっていく必要があります。

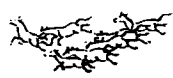
国の文化財として指定（2/6官報にて発表され正式に指定）された、江戸幕府直轄の牧の遺構・「野馬土手・捕込」を街のシンボルとして活用していくなら、鎌ヶ谷市全体を“パーク”として街づくりをしていくことができるのではないのでしょうか。

大津川、中沢の谷津の水辺、みどり（斜面林一里山）と台地の牧跡は、鎌ヶ谷の原風景“釜原”です。

子供たちが元気に走りまわり、笑い声がたえない広場や公園、ゆったりと散策できる“道”、自転車で市内じゅうまわれる“道”、車イスで安心して買物や移動できる“道”。

たくさんのことを実現していかなければなりません。その一歩は「市民が自ら、自分たちの街をつくっていくのだ」という、自治の街づくりです。104,000人一人一人の“その一歩”がこれからの鎌ヶ谷を決定します。

いっしょに“きらり鎌ヶ谷”を実現していきましょう！



青木さん「野馬土手」を語る



『野馬土手は泣いている』の著者、青木更吉氏をお迎えして2月18日午後、まなびいプラザで講演会が開催されました。

会場には昨夜来の雨にも拘わらず、市内はもとより、隣接市、遠くは東京町田市や佐倉市からも80名を超える熱心な方々の来場を得て会場は溢れんばかりの大盛況でした。講演は青木氏の永年に亘る豊富な知識と資料に基づき、更には巧みな話術と相俟って瞬く間に1時間半の時間が過ぎてしまいました。

小金高田台牧の捕込が今はなく共同墓地になっていること、鎌ヶ谷の野馬土手が5～6年前と比べて半減し1km程になってしまっていること、さらに相馬野馬追いと下総の野馬捕りの共通点など、本から

では分からない事も、今回の講演を聴いて全体像や関連する事柄がはっきり理解できました。来場者の多くの方も私同様100%満足して帰路に就いたものと思います。



終わりに、青木先生はじめ今回の講演会を支援して下さった関係者の皆様様に厚くお礼申し上げます。

東鎌ヶ谷 武田信明

※「野馬土手をまもる会（仮称・準）」は、今後皆様と一緒に野馬土手をまもる活動をしていきます。ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

渡辺俊彦 047-443-4650

ふじしる政夫はこう考えます。

Q & A

第一回

Q.かまがやの地域医療・介護…
“かかりつけ医”をどう実現しますか？

A.....
'07. 9月、248床の小児救急を含めた24時間365日の救急病院・鎌ヶ谷総合病院（中核病院）がオープンします。

この中核病院と、地元のお医者さん（かかりつけ医）、そして周辺の医療機関（船橋医療センター、二和病院など）が連携して、かまがやの地域医療をつくる必要があります。24時間の往診、24時間の介護、救急時の対応をトータルにケアできる、在宅療養の“かかりつけ医”制度をつくる為の新たな協議会もつくられるとのことです（12月議会での市の答弁）。

介護保険制度の地域介護と医療機関の制度を市民一人一人へのケアの立場から総合的に対応していける仕組みをつくっていきましょう。



工事中の鎌ヶ谷総合病院

Q.交通渋滞をどう解消しますか？

A.....
イオン、アクロスモールの開店、新鎌ヶ谷の街づくりが進めば進むほど鎌ヶ谷市内の交通渋滞はひどくなっています。

新京成線、東武線の“ふみきり”が交通渋滞の原因となっていることは、誰にでも分かります。一日も早く解決していかなければなりません。

さらに、根本的には、幹線道路が中心市街地へ集中している道路網にも大きな原因があります。どう通過車輛を周辺へ分散していくのか。その為の道路整備は急務です。



“歩いて楽しい道づくり”地区

又、公共交通を充実させ（LRT）、パークアンドライド（車の進入禁止）など、“歩く、自転車、公共交通”をキーワードに“道行政”を見直す必要があります。安全、安心な街づくりを、“人”の立場から実現していきたいです。

Q.谷津のみどりの再生とは？

A.....



「ほたるの里」と第二調節池

鎌ヶ谷市の自然は、手賀沼水系、印旛沼水系、真間川水系の分水嶺が、谷津のみどりとなっています。それぞれの水系の最上流の水の浄化

によって“きれいな水”の循環をとりもどさなければなりません。

さらに、中沢地区の第二調節池（「ほたるの里」周辺）を多自然型の谷津の景観としてつくっていくこと。大津川周辺のみどりと水を再生し、佐津間城跡と、栗野の森と結びつけた街づくりをするなら、鎌ヶ谷の原風景“釜原”をとりもどすことができると思われます。

みどり豊かな鎌ヶ谷とは、谷津と里山の再生と保全です。

Q.子育てしやすい街づくり・・・
どうつくりますか？

A.....

国の合計特殊出生率は1.26、千葉県1.22、鎌ヶ谷は1.18（H17. 12/31現在）、少子化のいきおいは止まらない状況です。全国のアンケート調査などでは、子育てしづらい原因として、①経済的な理由

②出産・子育てと仕事との両立がむずかしいがあげられています。男も女も共に出産・子育てに協力していける社会の仕組みが求められています。

今、育児休暇をとるのはほとんど女性、男性がとるケースはまれです（鎌ヶ谷市役所内、これまで男性は1件のみ）。男女共同参画社会が肝心なところで実現されていません。

又、保育所の待機児童は鎌ヶ谷市では2月末120人、現在計画中の保育所の定員は90人で、完成すると多少は解消しますが、まだまだ十分ではありません。

乳幼児医療、児童手当など財政面での充実と同時に、子育てサポートセンターなど、社会全体で支えていく仕組みも整えていく必要があります。

Q.学校での“特別支援教育”をどう考えますか？

A.....
文部科学省から軽度発達障がい児への「特別支援教育」が提起され、鎌ヶ谷市はいち早く支援教育を開始しました（初小、道野辺小など）。これまで、教室で走り出してしまう子、集中力がない子に対して「しつけが出来ていない。親の責任だ」といった言葉が発せられてきました。しかし、そのようなADHD、LDといった軽度発達障がいの生徒が、全国平均で5～6%おり、特別支援教育での適正な対応がありさえすれば、共に学校生活をおくっていけることが分かってきました。

“特殊教育から特別支援教育へ”と一人一人の個人に対応した教育の方向性が示されました。障がいのある子もない子と一緒に教育を受けるインクルーシブ教育がもとめられています。

子供達ひとりひとりを大切にする教育を、学校、地域、家庭が一緒になって実現していきたいです。



初小、特別支援教室

Q.住基ネット、どうなってますか？

A.....
すべての国民に11桁の番号がつけられ、'03. 8月、住基カードで本格稼働した住基ネット。すでに293の国の事務に使われています。



「全国どこでも住民票がとれる」として始まった住基ネット。使う人はほとんどいません。政府は、「電子政府、電子自治体をつくる為の住基ネット」と言いかたを変え始めています。

大阪高裁、名古屋高裁では、それぞれ住基ネットの違憲性、合憲性と、まったく正反対の判決がでています（'06. 11月、12月）

11桁の番号は、すべての情報を一本化するマスターキーとなります。住民の情報を一元管理する“国民総背番号制”の社会となることは必至です。

この住基ネットの事務は“自治事務”であり、その責任は各市町村にあります。個人情報保護の観点から、矢祭町、国立市、箕面市、杉並区では、住基ネットとの接続を切断しています。鎌ヶ谷市は接続しております。“個人の尊厳を尊重する”立場から、住基ネットには反対です。

Q.「市民の声がとれる議会」ってどんなことですか？

A.....
「市民と行政」との協働は、その一步をふみ出しています。議会においても、主権者たる市民と議会との協働の実現が望まれます。

議会は市民の投票で選ばれた“議員”が議論をする、行政をチェックする場として機能します。民主主義の内実をより豊にするには、これだけでは十分ではありません。市民が議会に参画していける仕組みが必要です。

例えば、議会の様子をインターネットで配信する。委員会等の会議も原則公開とする。議会での資料を市民に公開する、ということの他に、陳情を出した市民が、その意見を議会の場で陳述できる。公聴会、参考人制度を活用し、市民の意見を議会の場にとり入れていくなど、より開かれた議会にしていく必要があります。それが「市民の声がとれる議会」です。

Q.議員定数についてどう考えますか？

A.....
現在鎌ヶ谷市議会の定数は27名。人口割で計算すると3,818人に議員一人です。千葉県下人口10万人以上の市においては、木更津市4,350人、流山市5,423人、我孫子市4,734人に一人の議員です。

私は、人口割の観点からすると、議員定数を減少させるべきだと考えます。

今「27人→25人の案」が出されていますが、何故25名なのか、根拠が明らかにされるべきです。基本的には主権者たる市民が議員定数を決定する仕組みが必要です。市民が参加する第三者機関で、定数の方向性を諮るべきだと思います。



議員定数は？

**市民の声がとれる議会を！
市民の声がとれる市政を！**

『ふじしろ政夫』頑張れ！一言コーナー



◆藤代さんの魅力は、何と云っても誠実一筋で庶民的、問題解決にける執念抜群、ハンドマイクでの街頭演説あの姿、市議会ではあの弁舌の爽やかさ、優しい人ではあるが心の強い力を感じる。是非共、市議会に送りたい。

中村 光判 (東初富)

◆飾り気のない人柄、持ち前のバイタリティ、そして何事にも真剣に取り組む姿勢に共感を覚えます。市民の目線に沿った街づくりを進めていくために、より市のひろい行動力に期待をしています。

吉田 忠之 (道野辺中央)

◆ふじしろさんを一言でいえば・・・市政を本気で変えようとしている人、真の市民派、市民生活の実態を熱心に勉強をしている人、近所に何かあれば直ぐに飛んでくる行動派など・・・新たな応援を得て、一層の活躍を期待しています。

松下 丈夫 (東道野辺)

◆ふじしろご夫婦にお会いした時、なんと素敵な方だと思いました。お話も上手、いつも笑顔が断えない人、お会いする度にその魅力に引かれます。笑う角には福来るとか、よりよい鎌ヶ谷づくりのため素敵な笑顔でガンバって下さい。ガンバレふじしろ。

市村 美代子 (馬込沢)

◆同窓の誼での知り合いの所為か自分の子供の世代であるのにもかかわらず、話し合う機会を得る。その人柄は、誠実。身近な課題に真摯にとりくむ姿勢は積極的。問題の把握の手法は民主的。しかも、今、まさに活躍の時機。その行動力に期待したい。頑張れ。

大屋 俊郎 (くぬぎ山)

安全な道を...

黄色のセンターライン削除

南側に1m巾で白線を!



木下街道から井草橋公園に至る道路(東鎌ヶ谷3丁目)、40km/hの為、多くの車が、かなりのスピードを出して、通行しています。

「北側には歩道があるが、南側には歩道もなく、玄関の門を出たとたん車道となり非常に危険だ」と、住民から指摘されていました。

市は、本年度中に、センターの黄色のラインを削除し、南側に1m程の幅で白線を引く予定になっているとのことです。歩く人にとって安全な道にしていきたいものです。

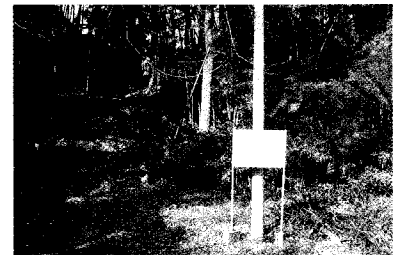
まちかど情報



佐津間城跡

中佐津間1丁目に戦国時代16世紀末期の城跡があります。山城ではなく、台地の先端に建てられた平山城と推測されています。

遺物、あるいは文書がなく、発掘調査はしていないとのこと。ただ周辺の小字名から、城跡と推察されるとのこと。7,000~24,000㎡の範囲になり、現在市街化区域内の私有地とのことです。地権者の方々のご理解をえて、城跡から大津川の谷津の景観を、佐津間地区の街づくりに生かしていけたら...と思われました。



「野馬土手・捕込」 国の史跡指定をうけて、整備進む

貝柄山公園入口の捕込、初富小校庭の野馬土手が、正式に国の史跡として指定されました(07. 2/6官報)。



市も整備の一環として、廃材、ゴミの散乱していた捕込周辺を清掃しました。一段と「捕込」が立派にみえました。

清掃された捕込周辺

3月議会ご案内

- 3月1日開会～3月23日閉会
- 3月6日 代表質疑
- 3月7日・8日 常任委員会
- 3月12日～14日 予算特別委員会
- 3月19日・20日・22日 一般質問

ふじしろ政夫の一般質問(予定)

- ①公益通報者保護制度の実施状況について
 - ②鎌ヶ谷市の道路行政のあり様について
- 生活道路・幹線道路・車の渋滞の課題—

お知らせ

★法律弁護士無料相談 ～要予約 ふじしろまで～
3月24日(土) 13:00～

★ドキュメンタリー映画

“戦争をしない国日本” 上映会

3月25日(日) 14:30～中央公民館 500円

★劇映画「日本の青空」

日本国憲法を作ったのはだれか?

6月23日(土) 松戸で上映決定